

奈良県 保育園で行う季節の花を使った「花育教室」

作成者： 奈良県花き植木農業協同組合 箕輪 繁

■ 実施主体

名称：奈良県花き振興協議会
担当窓口：奈良県花き植木農業協同組合
所在地：奈良県磯城郡田原本町八田208-1
HP：<http://www.narakaki.or.jp>



■ 団体等構成

奈良県花き植木農業協同組合、奈良県生花商組合
公益社団法人日本フラワーデザイナー協会奈良県支部
奈良県フラワー装飾技能士会、奈良県農業水産振興課

■ 取組地域：奈良県天理市、磯城郡田原本町内の保育園

■ 概要

園児が花に触れる事で、花の楽しさを覚えてもらう。

■ 取組開始時期・経緯

平成28年8月
今年度で国産花きイノベーション推進事業「花育教室」は3年目となる。

■ 目的（目標）

園児が花に触れる事で、花の楽しさを覚えてもらう。
今後も継続して花育教室を開催する。

【取り組み内容】

- 対象者・人数：保育園児7名～45名
- 所要時間：25分
- 対象場所：奈良県天理市、磯城郡田原本町内の保育園
- 指導者：講師3～5名＋保育士4～5名

<季節のフラワーアレンジメント>

- 資材：
 - ・ アレンジメント用カゴ
 - ・ アレンジメント用セロファン
 - ・ 吸水性スポンジ
 - ・ ラッピングペーパー
 - ・ ピック
 - ・ ラッピング用カールリボン
- 花材：
 - ・ 季節の花、1人5種類、10～12本程度

■ 活動内容（指導内容）

8月26日の花育教室では、児童にメインになるお花（小輪ヒマワリ・ガーベラ・カーネーション）を各自で選んでもらい、フラワーアレンジメントを作成。

10月21日・26日・28日は、ハロウィンのイメージのアレンジメントを作成。

11月15日・16日は、お菓子のイメージのアレンジメントを作成。

■ 指導のポイント

園児の自主性を尊重する。

季節の行事（ハロウィン・お月見）と絡めて、行事に関心を持ってもらい、花を楽しんでもらう。

ヒマワリ小輪・ガーベラ・カーネーションを使った
フラワーアレンジメント作品

実施日：8月26日



「ハロウィンのフラワーアレンジメント」

実施日：10月21日、26日、28日



「お菓子（キャンディ）をイメージしたアレンジメント」

実施日：11月15日、16日



■ 児童・生徒に関心を持ってもらえるように工夫している点

8月26日の花育教室

- ・児童にメインになるお花（小輪ヒマワリ・ガーベラ・カーネーション）を各自で選んでもらう。

■ 経費

1人当たり（花材費1300円・資材費700円）2000円程度

■ これまでの成果

過去2年間で花育体験者数は計画を上回り、多くの児童に花との触れ合いを体験してもらうことが出来た。

平成26年度 花育教室7回 参加児童209人（目標200人）

平成27年度 花育教室8回 参加児童202人（目標200人）

■ 参加者からの感想（児童、生徒、保護者）

（保護者アンケート）

- ・フラワーアレンジメントを家庭に持ち帰ってからも、子どもが水やりをしている。花を思いやる姿勢が把握できた。
- ・アレンジメントも良いが、伝統的な華道、生け花も体験させてやりたい。
- ・保育園の園庭に、花の苗や球根等を植えて育てても良いのではないかと。園庭が難しい場合は、町に協力頂いて、地域の公園に花の苗を植えたりする活動も行っていただければ、もっと公園や花に親しみが深まるのではないかと思う。
- ・季節毎に花育教室の機会があれば良いのではないかと思う。

■ 今後の課題やその改善方法

フラワーアレンジメントを作る機会を、花育教室以外でも設けていきたい。